

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-226011

(43)公開日 平成7年(1995)8月22日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 11 B 19/02  
27/10

識別記号 501 J 7525-5D  
A 8224-5D  
8224-5D

府内整理番号 F I  
G 11 B 27/10

技術表示箇所  
A

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願平6-17163  
(22)出願日 平成6年(1994)2月14日

(71)出願人 000005821  
松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地  
(72)発明者 増野 貴司  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(72)発明者 名田 孝穂  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(72)発明者 升野 渉  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(74)代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

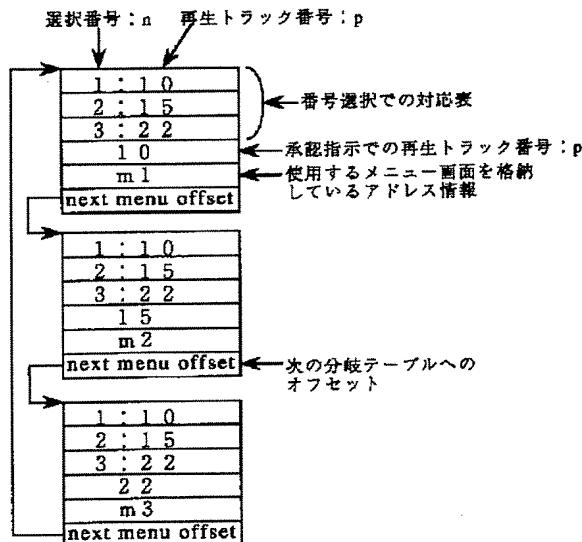
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 選択制御方法

(57)【要約】

【目的】 2つの選択制御方法間で互換性のある再生制御情報構造を有した選択制御方法を提供することを目的とする。

【構成】 番号による識別子を付加された複数の選択肢を同一画面上に表示し、使用者が選択肢に対応する番号を指示することで、選択肢毎に対応した分岐情報の集合した分岐情報テーブルで動作を規定する第1の制御方法と、複数の選択肢を同一画面上に表示する際に、所定の選択肢と他の選択肢とで視覚的な差異を施し、使用者へ所定の選択肢の選択を確認することを意図して提示し、その提示を承認する指示によって承認選択の分岐情報で動作を規定する第2の制御方法とを併用する制御方法であって、第1の制御方法が使用する分岐情報テーブルに第2の制御方法が使用する分岐情報を合わせ持ち、第1の制御方法と第2の制御方法とで共用できる分岐情報の集合とした。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】番号による識別子を付加された複数の選択肢を同一画面上に表示し、使用者が選択肢に対応する番号を指示することで、選択肢毎に対応した分岐情報の集合した分岐情報テーブルで動作を規定する第1の制御方法と、

複数の選択肢を同一画面上に表示する際に、所定の選択肢と他の選択肢とで視覚的な差異を施し、使用者へ所定の選択肢の選択を確認することを意図して提示し、その提示を承認する指示によって承認選択の分岐情報で動作を規定する第2の制御方法との、一方あるいは両方の制御方法を併用する制御方法であって、

前記第1の制御方法が使用する分岐情報テーブルに前記第2の制御方法が使用する分岐情報を合わせ持つことで、前記第1の制御方法と前記第2の制御方法が共用できる分岐情報の集合としたことを特徴とした選択制御方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は記録媒体再生装置の選択制御方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】近年、記録媒体の再生制御方法として記録媒体自身にその再生手順等の再生制御情報が記録され、その制御情報を用いるより使い勝手のよい操作環境が求められている。

【0003】以下に、従来の選択制御方法として、ディスク再生装置を例に説明する。図3は従来の選択制御方法を用いるディスク再生装置の構成図、図7は第1の従来例の選択制御方法のフローチャート、図10は第2の従来例の選択制御方法のフローチャート、図6は第1の従来例で用いるメニュー画面の例、図9は第2の従来例で用いるメニュー画面の例である。

【0004】以下第1の従来例の動作について図3、図6、図7を用いながら説明する。まず、ステップ1で制御手段31がディスク再生手段32を用いてディスク33に予め記録されている再生制御情報を取り出し記憶する。再生制御情報は選択肢を表示する為のメニュー画面が格納されているディスク上のアドレス情報と、各選択肢の識別番号と対応するディスク上のトラック番号情報の分岐テーブルとで構成される。この再生制御情報の構造の一例を図5に示す。

【0005】ステップ2で制御手段31は記憶している再生制御情報のメニュー画面が格納されているアドレス情報をディスク再生手段32に与え、ディスク33に予め記録してあるメニュー画面(図6)を再生し表示手段35に表示する。

【0006】ステップ3で制御手段31はキー入力手段34からのキーの入力nを受け取る。

【0007】ステップ4で制御手段31は記憶している

10

20

30

40

50

2

再生制御情報を参照し、識別番号nが定義されているか検査し、定義されていなければステップ2に戻る。

【0008】ステップ5で制御手段31は記憶している再生制御情報を参照し、識別番号nに対応するトラック番号pを取得する。

【0009】ステップ6で制御手段31はディスク再生手段32を用いてディスク33のトラックpを再生し、トラックpの再生が終了するとステップ2に戻る。

【0010】このように、第1の従来例では入力された番号キーに対応したトラックが再生される選択制御方法である。

【0011】続いて第2の従来例の動作について図3、図9、図10を用いながら説明する。

【0012】まず、ステップ1で制御手段31がディスク再生手段32を用いてディスク33に予め記録されている再生制御情報を取り出し記憶する。再生制御情報は選択肢を表示する為のメニュー画面が格納されているディスク上のアドレス情報と、メニュー画面で提示されている選択肢に対応するディスク上のトラック番号情報とからなる分岐テーブルに、他の分岐テーブルとの連結の為のオフセット情報が付加された複数組からなる分岐テーブルである。この再生制御情報の構造の一例を図8に示す。

【0013】ステップ2で制御手段31は記憶している再生制御情報から、最初の分岐テーブルのメニュー画面が格納されているアドレス情報をディスク再生手段32に与え、ディスク33に記録してあるメニュー画面1(図9のm1)を再生し表示手段35に表示する。

【0014】ステップ3で制御手段31はキー入力手段34からのキーの入力nを受け取る。

【0015】ステップ4で制御手段31はnは承認を意図するPLAYキーか、不承認を意図するNEXTキーかを判断し、NEXTキーであればステップ7に進む。

【0016】選択肢が承認されていればステップ5で制御手段31は記憶している再生制御情報を参照し、対応するトラック番号pを取得する。

【0017】ステップ6で制御手段31はディスク再生手段32を用いてディスク33のトラックpを再生し、トラックpの再生が終了するとステップ2に戻る。

【0018】ステップ7では他の選択肢を提示する為に、制御手段31は記憶している再生制御情報中の次の選択テーブルの情報を使用することとし、ステップ2へ戻る。

【0019】このように、第2の従来例ではメニュー画面で提示した選択肢を承認すると対応したトラックが再生され、不承認だと次の候補を図10のm1, m2, m3に示すように提示することを繰り返す選択制御方法である。

【0020】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記2つの従来の選択制御方法では、再生制御情報に互換性が無

く、どちらの選択制御方法を用いてディスクを制作するかを決定した時点で、再生制御情報の構造が確定してしまう。言い換えると、ディスク制作過程での仕様変更等の選択制御方法の変更や、2つの選択制御方法の混在したディスクを制作できないという問題点を有していた。

【0021】本発明は上記従来の問題点を解決するもので、2つの選択制御方法間で互換性のある再生制御情報構造を有した選択制御方法を提供することを目的とする。

【0022】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため本発明の選択制御方法は、番号による識別子を付加された複数の選択肢を同一画面上に表示し、使用者が選択肢に対応する番号を指示することで、選択肢毎に対応した分岐情報の集合した分岐情報テーブルで動作を規定する第1の制御方法と、複数の選択肢を同一画面上に表示する際に、所定の選択肢と他の選択肢とで視覚的な差異を施し、使用者へ所定の選択肢の選択を確認することを意図して提示し、その提示を承認する指示によって承認選択の分岐情報で動作を規定する第2の制御方法とを併用する制御方法であって、第1の制御方法が使用する分岐情報テーブルに第2の制御方法が使用する分岐情報を合わせ持ち、第1の制御方法と第2の制御方法とで共用できる分岐情報の集合とした。

【0023】

【作用】本発明は上記した分岐情報の構成により、第1の制御方法と第2の制御方法が必要とする分岐情報を全て含む。

【0024】

【実施例】以下本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0025】図1は本発明の実施例における再生制御情報の構成図、図2はメニュー画面の例、図4選択制御方法のフローチャートを示すものである。

【0026】従来例同様、本実施例の選択制御方法として、ディスク再生装置を例に説明するが、構成は従来例と同一であり、構成を図3に示すが説明は省略する。以下本実施例の動作について図1、図2、図3、図4を用いながら説明する。

【0027】まず、ステップ1で制御手段31がディスク再生手段32を用いてディスク33に予め記録されている再生制御情報を取り出し記憶する。

【0028】再生制御情報は、選択肢を表示する為のメニュー画面が格納されているディスク上のアドレス情報と、第1の選択制御方法で使用する各選択肢の識別番号と対応するディスク上のトラック番号情報の対応表と、第2の選択制御方法で用いるメニュー画面で提示されている唯一の選択肢に対応するディスク上のトラック番号情報とで構成される分岐テーブルに、他の分岐テーブルとの連結の為のオフセット情報が付加された複数組からな

る分岐テーブルである。この分岐テーブルの構造を図1に示す。

【0029】ステップ2で制御手段31は記憶している再生制御情報のメニュー画面が格納されているアドレス情報をディスク再生手段32に与え、ディスク33に予め記録してあるメニュー画面(図2のm1)を再生し表示手段25に表示する。

【0030】ステップ3で制御手段31はキー入力手段34からのキーの入力nを受け取る。

【0031】ステップ4で制御手段31はnは承認を意図するPLAYキーか、不承認を意図するNEXTキーか、番号キーかを判断し、NEXTキーであればステップ8に進む。

【0032】選択肢が承認されていればステップ6で制御手段31は記憶している再生制御情報を参照し、対応するトラック番号pを取得する。

【0033】nが番号キーであればステップ5に進み、制御手段31は記憶している再生制御情報を参照し、識別番号nが定義されているか検査し、定義されていなければステップ2に戻る。

【0034】定義されていればステップ6で制御手段31は記憶している再生制御情報を参照し、識別番号nに対応するトラック番号pを取得する。

【0035】ステップ7で制御手段31はディスク再生手段32を用いてディスク33のトラックpを再生し、トラックpの再生が終了するとステップ2に戻る。

【0036】ステップ8では他の選択肢を提示する為に、制御手段31は記憶している再生制御情報中の次の選択テーブルの情報を使用することとし、ステップ2へ戻る。

【0037】このように、メニュー画面で提示した選択肢を承認すると対応したトラックが再生され、不承認だと次の候補を図2のm1, m2, m3に示すように提示することを繰り返し、直接番号キー指定の場合は入力された番号キーに対応したトラックが再生される選択制御方法である。

【0038】以上のように本実施例によれば、第1の制御方法が必要とする再生制御情報に第2の制御方法が必要とする再生制御情報を合わせ持たせることで、第1の制御方法と第2の制御方法とで共用と制御方法の混在ができる再生制御情報とすることができる。

【0039】

【発明の効果】以上のように本発明は、番号による識別子を付加された複数の選択肢を同一画面上に表示し、使用者が選択肢に対応する番号を指示することで、選択肢毎に対応した分岐情報の集合した分岐情報テーブルで動作を規定する第1の制御方法と、複数の選択肢を同一画面上に表示する際に、所定の選択肢と他の選択肢とで視覚的な差異を施し、使用者へ所定の選択肢の選択を確認することを意図して提示し、その提示を承認する指示に

よって承認選択の分岐情報で動作を規定する第2の制御方法との、一方あるいは両方の制御方法を併用する制御方法であって、第1の制御方法が使用する分岐情報テーブルに第2の制御方法が使用する分岐情報を合わせ持つことで、第1の制御方法と第2の制御方法が共用できる分岐情報の集合としたことを特徴とした選択制御方法とすることで、2つの選択制御方法を自由に組み合わせて使用でき、ディスク制作過程での仕様変更等の選択制御方法の変更や、2つの選択制御方法の混在したディスクを容易に制作できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例における再生制御情報の構成例を表わした図

【図2】本発明の実施例におけるメニュー画面の例を表わした図

【図3】本発明の実施例及従来例のディスク再生装置のブロック図

【図4】本発明の実施例の選択制御方法のフローチャート

【図5】第1の従来例の再生制御情報の構成例を表わした図

【図6】第1の従来例のメニュー画面の例を表わした図

【図7】第1の従来例の選択制御方法のフローチャート

【図8】第2の従来例の再生制御情報の構成例を表わした図

【図9】第2の従来例のメニュー画面の例を表わした図

【図10】第2の従来例の選択制御方法のフローチャート

【符号の説明】

3 1 制御手段

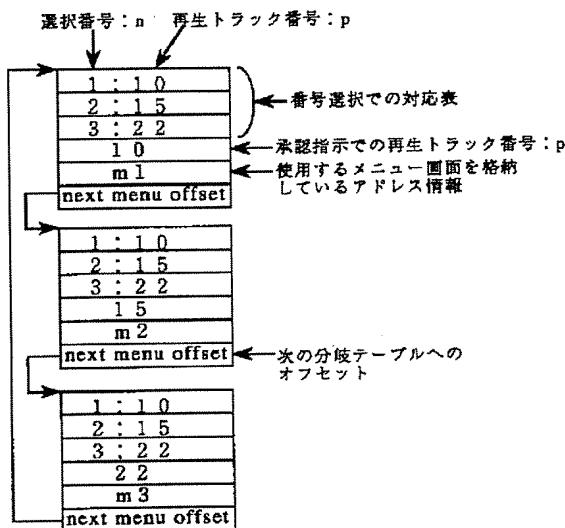
3 2 ディスク再生手段

3 3 ディスク

3 4 キー入力手段

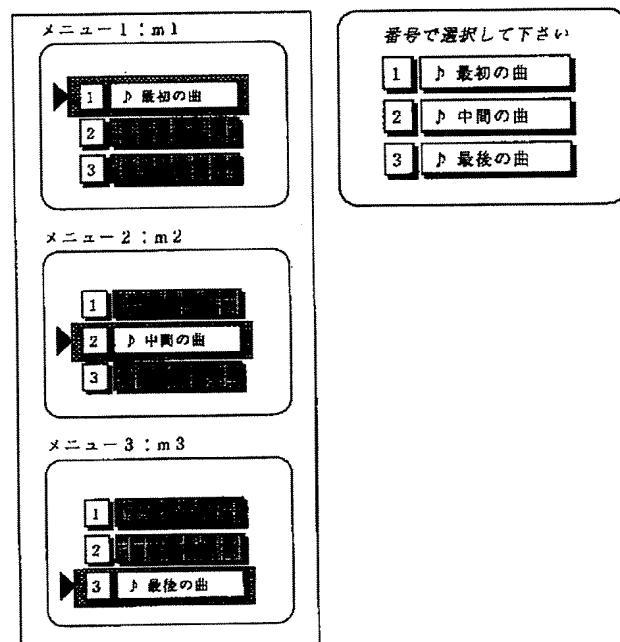
3 5 表示手段

【図1】

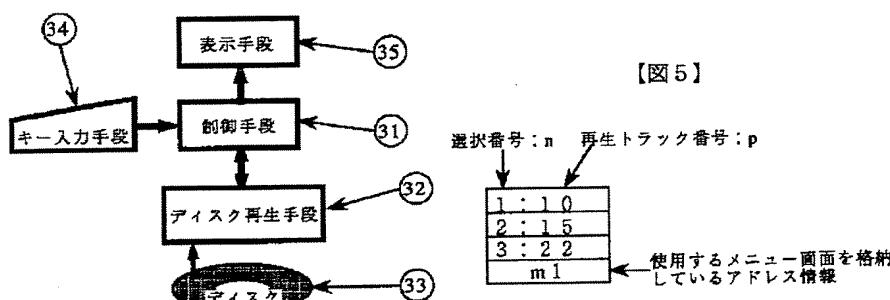


【図3】

【図2】

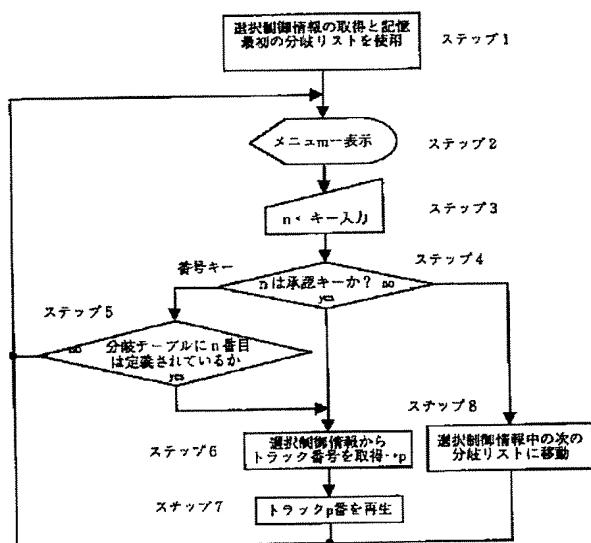


【図6】

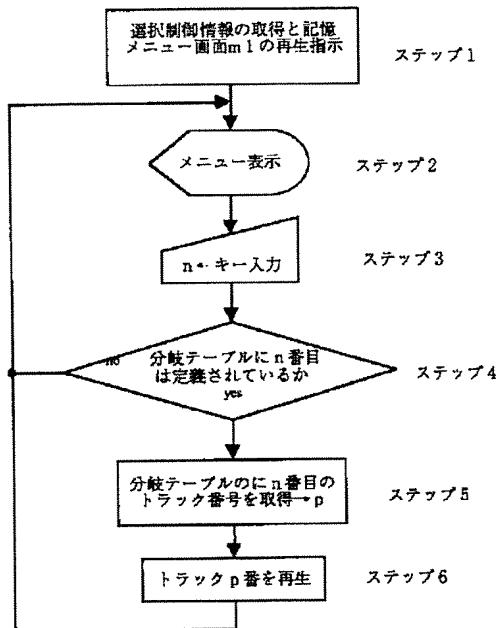


【図5】

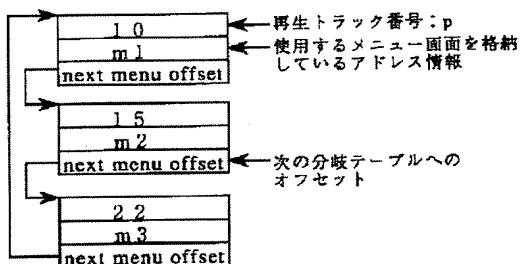
【図4】



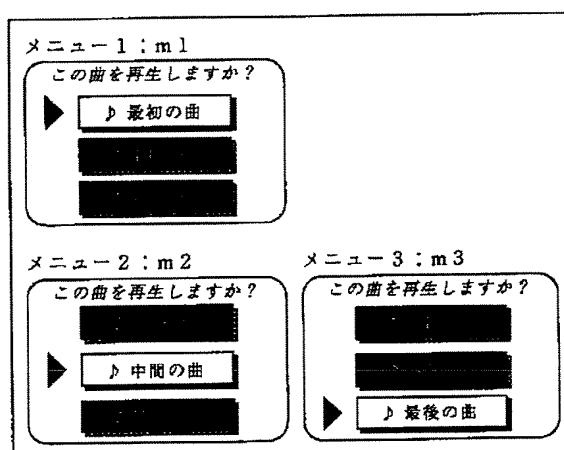
【図7】



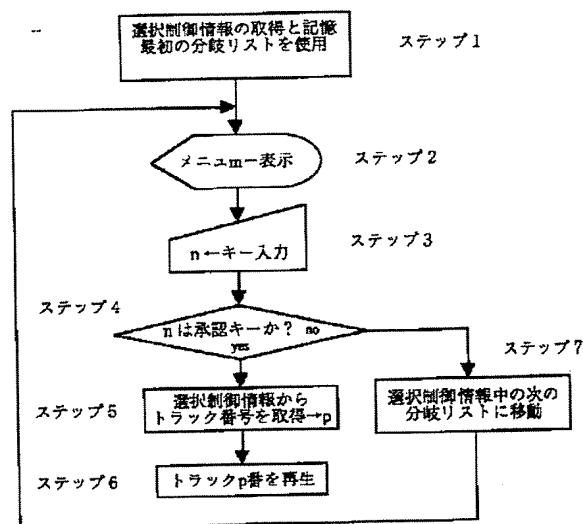
【図8】



【図9】



【図10】



## フロントページの続き

(72)発明者 村田 達也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 小川 秀明

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 西村 達也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 亀田 啓一

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内